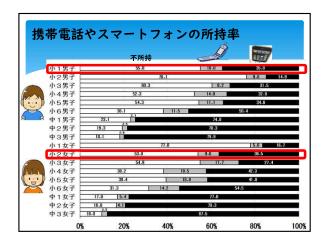
### 令和4年度みきっ子未来応援協議会 家庭・地域・学校教育部会 次第

日時 令和 5 年 2 月 20 日 (月) 場所 三木市教育センター4 階中研修室

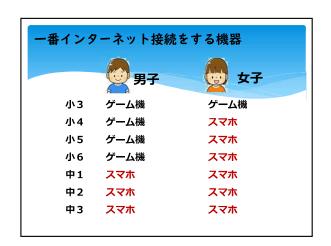
- 1 開会あいさつ
- 2 部会長、副部会長紹介
- 3 委員自己紹介
- 4 協議事項 「家庭・地域・学校が一体となった人づくりに関すること」
- (1) 事例及び現状
  - ・三木市の児童生徒のインターネット利用について
  - ・青少年の健全育成に係る取組状況について
  - ・地域と学校の連携・協働体制構築事業について
- (2) 家庭、地域、学校の連携
- 5 その他
- 6 閉会あいさつ

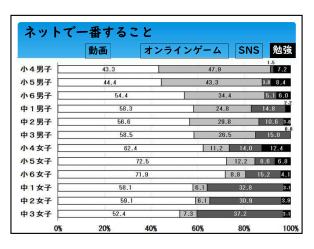


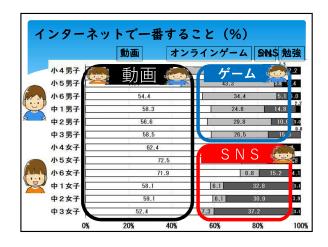


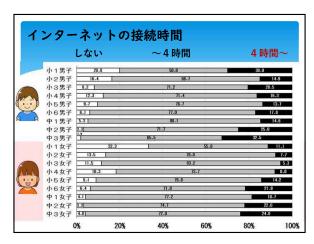












三木市の4時間以上インターネットに接続して いる児童生徒の状況

夜遅く寝る

イライラしている

勉強に自信ない

ネットでケンカ

ネットで課金(5000円以上)

知らない人とやりとり

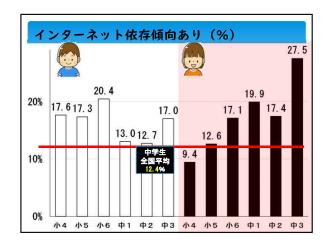
実際に会っている

### インターネット依存調査

- ①ネットに夢中と感じる
- ②満足のため使用時間をもっと長時間したい
- ③中止を試みたがうまくいかないことがたびたび
- ④時間を短くしようとするとイライラする
- ⑤考えていたより長く続けてしまう
- ⑥ネットで人間関係を台無しにしたことがある
- ⑦熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことがある
- 8絶望、不安から逃げるためにネットを使う

3個~ 危険

5個~ 依存?



### (2) 三木市の取組

- ネット利用教室
- ネットサミット
- いじめ・不登校フォーラム
- ネット見守り隊
- 学年別ICTスキル一覧表 三木市版



# ○ ネットサミット

・各中学校から3名 計21名の生徒を集め、教育 センターでインターネット利用について考えた。



## ○ いじめ・不登校フォーラム

・コーディネーター

兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄

教師、PTA

約70名 ネットサミットに参加した生徒

三木南交流センター 体育館

・内容

ネットサミットで考えた「保護者への提言」 「先生への提言」「三木市への提言」等を生徒が 発言し、そのことについて意見を出し合った。

# ○ ネット見守り隊

- 授業等でのタブレット活用
  - ・AIドリル
  - ・検索機能を使った調べ学習
  - ・デジタル教科書
  - ・心身の健康観察
  - ・アンケート

など

今後もインターネットを上手に活 用しながら、よりよい学びや生活 が送れる子どもたちを育成してい きます。

ご清聴ありがとうございました。

### 令和4年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」について

#### | 事業の所管課

三木市教育委員会事務局 教育総務部 生涯学習課

#### 2 事業の趣旨、概要

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、地域住民等と学校がそれぞれの役割と責任を自覚し、連携・協働を図る体制づくりを進める必要がある。

そのため、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動(=「地域学校協働活動」)を推進する。

三木市においては、生涯学習課に統括コーディネーターを配置し、地域住民の方や 豊富な社会経験を持つ方の協力を得て、学校のニーズに応じた教育支援活動を主に実 施している。

対象校は、市内の小学校 | 3校、中学校 6校、特別支援学校 | 校の 2 0 校で、体験活動支援(ヨガ教室、防災訓練)、学習支援(昔遊び教室、書道教室等)、学校環境整備支援(花壇の植栽、図書館ボランティア等)を行い、本年度は現時点で約 | 0 0 名の地域住民のボランティアの方に指導者としてご協力をいただいている。

### 3 「自由っ子未来塾」及び「おかたづけのお部屋」について

「地域と学校の連携・協働体制構築事業」は、上記の学校別の教育支援活動に加え、三木市自由が丘公民館において「自由っ子未来塾」を、三木市青山公民館において「おかたづけのお部屋 2022」を開催した。

夏休み期間中に、自主学習や夏休みの宿題について、児童の学習支援を行った。

### 4 本年度の動き

ここ数年、コロナウイルス感染症の影響により、協働活動が減少傾向であったが、 本年度は少しずつではあるが活動の機会が増加している傾向である。

今後も引き続き、地域と学校の協働活動を通して、地域全体で子どもたちの育ちを 支援していく。

# 三木市青少年センター事業説明資料

令和5年2月20日

- 1 青少年センターが取り組む青少年の健全育成に係る事業
- (1) 児童・生徒等の見守り活動
  - ・ 「人の目の垣根隊」会員が、小学校区毎に登下校、放課後等の見守り活動を実施
  - 活動時、会員による「あいさつ運動」や「安全指導」の実践
  - ・ 小学校区ごとに「人の目の垣根隊意見交換会」を実施し、会員の思いや要望を聞き、 今後の見守り活動に反映
- (2) インターネット利用における加害や被害防止に向けた「ネット見守り隊」事業
  - ・ 特別監視員がゲームやツイッター、フェイスブック、動画サイト等の検索を随時行い、青少年センターが報告を受けた事案に関しては、学校教育課を通じて関係小・中学校と連携して児童生徒に適切な指導
  - 青少年のネット利用状況を知ることにより、流行や動向を把握
- (3) 関係機関との連携
  - ・ 学校・警察・事業者連絡会で情報交換(年2回)
  - 中播地区高等学校生徒指導協議会で情報交換(年4回)
- (4) 青少年健全育成ポスターの制作と配布
  - ・ 市内小中学生に夏季休業中、ポスター作成を依頼し、優秀作品2点をポスターにまとめ、10月頃に、市内各小・中・特別支援学校、公共施設、大型量販店等に配布・ 掲示依頼
- 2 青少年センターと補導委員会が協働して取り組む青少年の健全育成に係る事業
- (1) 青少年の非行防止、健全育成に向けた補導活動
  - ・ 各地域における班活動として、地域巡回補導活動の実施(原則月2回以上の深夜 補導)
  - ・ 北播磨全域の青少年補導委員が統一活動として街頭補導活動の実施(年2回)
  - 役員と各班員が協働した深夜補導活動の実施(年5回)
  - 大宮八幡宮や岩壷神社、戎神社の祭礼等各地域で行われる神社祭礼や納涼大会、文 化祭等での補導活動の実施

### (2) 青少年健全育成啓発活動

- ・ 小・中学校 P T A 役員や更生保護女性会の協力を得て、大型量販店舗内の巡回や 店頭での啓発を兼ねた「P T A パトロール」の実施
- ・ 三木防犯協会と協働した青少年健全育成への啓発活動の実施
- 青色パトロール車による下校中の児童生徒の見守り巡回活動の実施
- ・ 市内に8ヶ所設置した白ポストに投函された青少年に有害な図書類を、11班(PTA班)とともに回収
- ・ 北播磨県民局と協働した青少年への有害環境実態調査の実施